

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王南小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国よりも低いです。「文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する」は全国平均を上回っており、文章を概略的に捉えることができる様子がうかがえます。一方で、特に漢字の読み書きの平均正答率は、全国よりも低く、習得状況に課題がみられます。
- ・算数の平均正答率は全国よりも低いです。「データの活用」の「棒グラフから項目間の関係を読み取る」は、ほぼ全国と同程度で、データから必要なことを捉えることができる様子がうかがえます。一方で、「図形の求積」や「数量関係」については、構成を判断しその解決方法を見出していくことに課題がみられます。
- ・国語、算数共に、記述式の設問に対する無回答率が高くなっています。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向が認められる項目
「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する」「人が困っているときは、進んで助けている」に対する肯定的な児童の割合が全国よりも高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
携帯電話やスマートフォン、PCを持っている児童の割合が全国よりも高いです。使い方についての家の人との約束をきちんと守っている児童が全国よりも高い一方で、約束はないとする児童も全国よりも高いです。学校以外での学習時間が、平日、休日ともに、全国平均よりも短いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・学習内容の確かな理解や定着をめざし、授業の始まりには学習のねらいやめあてを一人一人につかませるとともに、終わりには学習したことの振り返りを行う授業を推進していきます。
- ・学習に対する意識の向上を図っていくために、学校生活の様々な場面において、発表したり説明したり意見交換をしたりするなど、児童が主体的に学習に取り組む場の設定を工夫していきます。
- ・四則計算や言語事項等の基礎学力の確かな定着を図るために、家庭と連携をとりながら復習や練習に取り組めるようにしていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「家庭学習の手引き」を参考にしながら、『学年×10分+10分』の学習が習慣化できるように、家庭学習に進んで取り組んでいるお子さんに励ましや賞賛の言葉をかけてあげてください。
- ・お子さんの一日の過ごし方を把握するとともに、時間や遊び方等についての「我が家のルール」を親子で共有してください。
- ・お子さん自身に関わることや学校での出来事、社会の話題等、親子での会話の機会を大切にしながら、良き聞き手になってあげてください。